



脱脂洗浄液 速乾Mの使用量低減

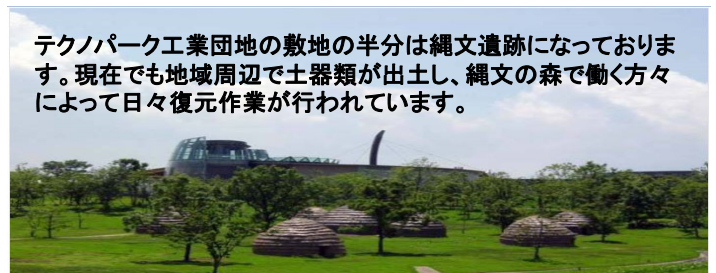
富士精工株式会社
鹿児島工場 製作課 間手原 翼

C-max

鹿児島工場の紹介

C-max

上野原テクノパーク工業団地



上野原テクノ
パーク
工業団地内立
地企業

- (株)九州タブチ、富士精工(株)、共栄機械(株)、(株)藤田ワークス、八幡金属(株)
- (株)テクノクロス九州、マイクロカット(株)、(株)平島、レップ物流(株)
- (株)さつまファインウッド、セラテックジャパン(株)



敷地面積 (27, 492㎡)

建築面積 (3, 734㎡)

工場棟 60m × 45m

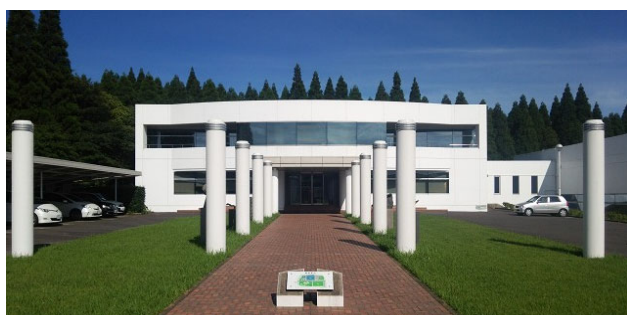
従業員数 40名 (男性 38名 女性 2名)

鹿兒島工場の紹介

鹿兒島工場は インサートチップを装着しないものを中心とした 標準・準標準品ホルダを
少人数で生産できるラインとして 当初10名程で 1992年8月に創業しました。
近年はインサートチップを装着する特殊ホルダも一部生産を行っています。



工場棟 外観



正面から見た事務棟



背景

組付・検査工程で製品・部品の洗浄作業を行う際に速乾Mを使用している。製品・部品には錆防止の防錆油が塗られておりそれを製品組付け前に毎回、1つの容器で洗浄作業を行っていた。

現状・作業方法



【速乾Mの使用量】

毎月の使用量・・・25.5L/月

年間の使用量・・・25.5L/月 × 12ヶ月 = 306L/年

問題点

速乾Mの劣化が早い

現状の作業方法から

- ・1つの容器で洗浄している。
- ・1回の洗浄作業で防錆油を落としきれない。

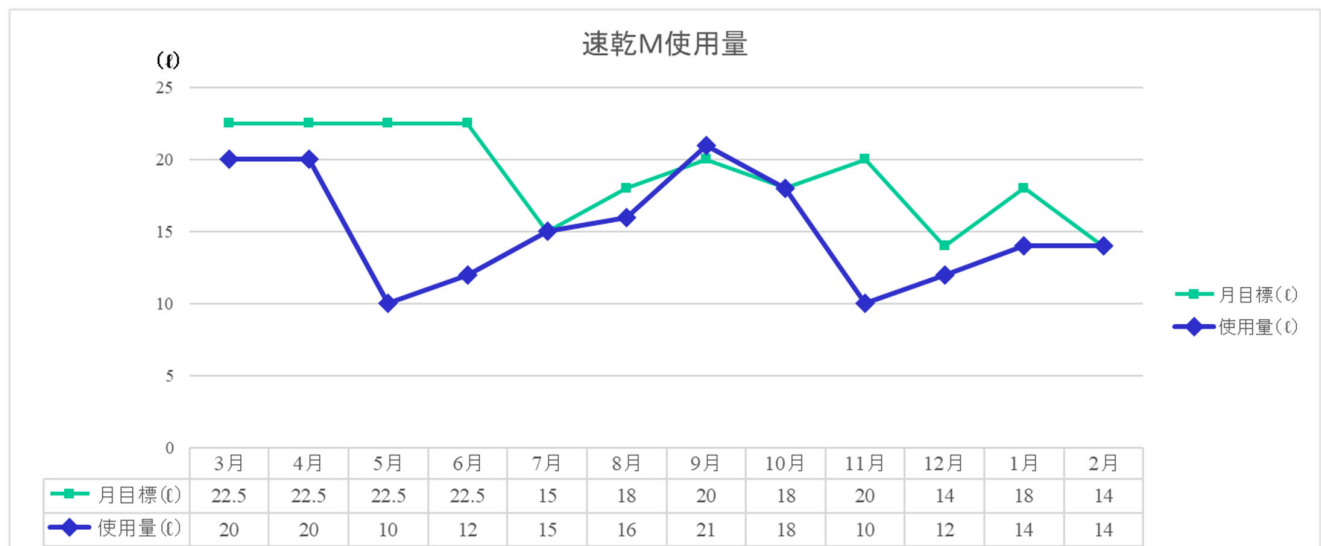
対策

- ・一つの容器で洗浄していたのを容器を2つにして荒洗浄を追加して製品・部品の余分な防錆油を荒洗浄で落とし仕上げ洗浄することで劣化を防ぎ廃棄量を低減する。
- ・荒洗浄・・・破棄していた仕上げ洗浄液を使用。
- ・仕上洗浄・・・荒洗浄で余分な防錆油が取れているため仕上洗浄液の交換回数が減る。
- ・一カ月の使用目標値を設定して課員に周知



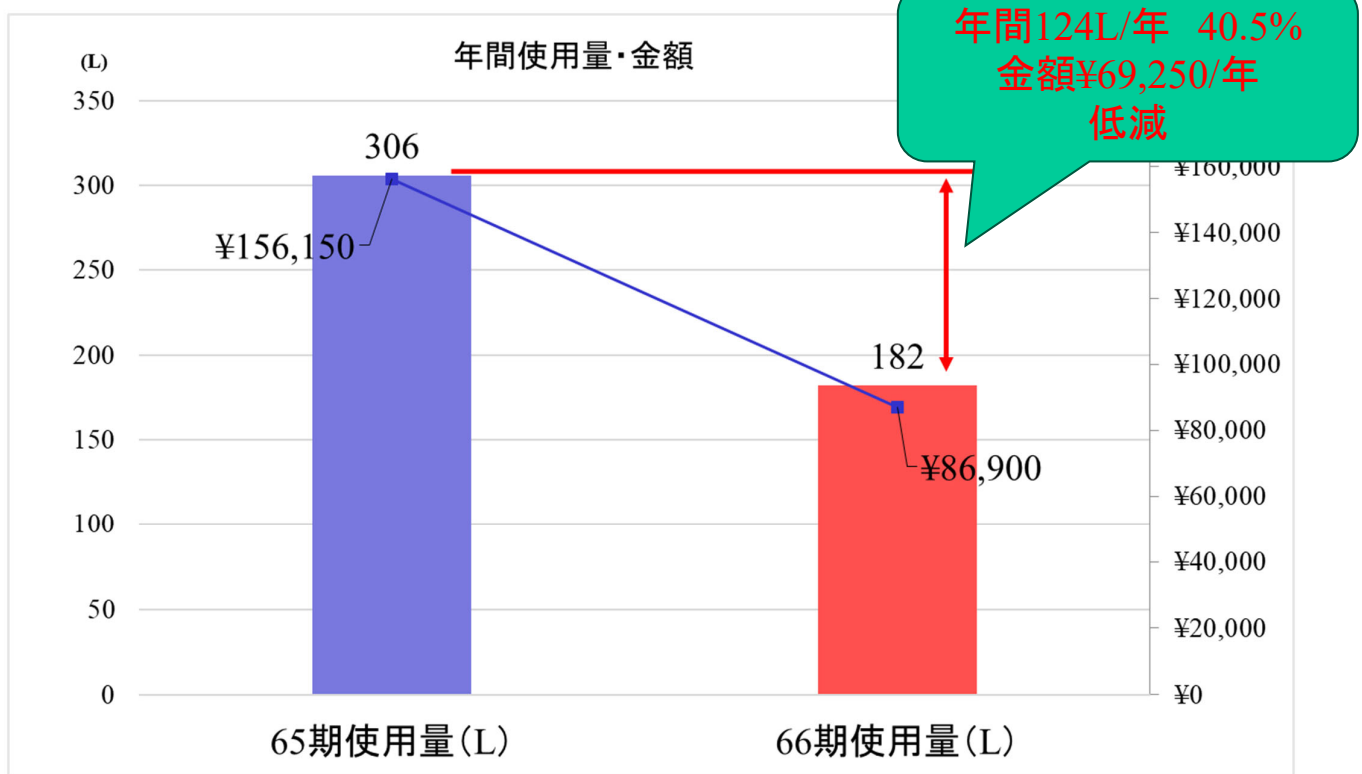
効果

毎月の使用量を明確にし課員周知して使用量を意識させたためムダな使用量がなくなった。



効果

効果の確認



C-max
FUJISEIKO LIMITED

ご清聴ありがとうございました。